

指定管理業務評価結果書

1 施設の名称等

(1) 公の施設の名称	奥津川ラビンの里
(2) 指定管理者	所在地 津山市奥津川867番地 名称 ラビンの里管理組合 代表者 組合長 平山 幸隆
(3) 公の施設の所管部署	産業経済部 農村整備課
(4) 指定期間	平成26年4月1日～平成31年3月31日
(5) 評価対象期間	平成29年4月1日～平成30年3月31日

2 施設の利用状況

(1) 利用者数等	テントサイト 利用人数 646人 (前年度 530人) 宿泊施設 利用人数 213人 (前年度 210人) バーベキューガーデン 利用人数 1,481人 (前年度 1,638人)
(2) 事業の内容	ラビンの里の施設利用許可・運営・管理

3 収支の状況

(1) 収入 (指定管理者の収入)	総 額 5,249千円 (前年度 5,409千円) 利用料金収入 1,097千円 指定管理料 4,104千円 自主事業収入 48千円 その他の収入 0千円
(2) 支出 (指定管理者の支出)	総 額 5,249千円 (前年度 5,405千円) 人件費 3,164千円 光熱水費 726千円 修繕・消耗品費等 427千円 委託料 850千円 その他 82千円

4 総合評価結果

(1) アンケート調査等の概要	○ 利用者にアンケート用紙を渡して、評価・感想などを記入してもらっている。
(2) 指定管理者の自己評価	○ 前年度より利用料金収入が減っているが、利用者が天候に左右されやすく、雨天の場合のキャンセルが多かったことが考えられる。 ○ 施設の老朽化が目立ってきているが、指定管理料の中で、計画的に修繕をおこなっている。 ○ イノシシの被害は減っているが、シカの被害が大変酷かった。シカの糞の片づけに時間を要し、営業に支障をきたしている。 ○ バーベキューサイトの利用者は多いが、宿泊施設やテントサイトの利用者数が伸び悩んでいる。
(3) 市の評価	○ 昨年度は大雨や台風などが多かったため、過去数年間の実績と比較しても利用者数・売上ともに大幅に減少している。 ○ 施設の老朽化が進行するなか、自主的に経費を節減しながら修繕等を行っている。今後も継続的な努力に期待する。 ○ 利用状況が天候に影響を受けることは避けられないことではあるが、利用者増加のために、積極的なPRを行われたい。 ○ イノシシ、シカなどの対策については、これらの侵入を根本的に防ぐ方法を研究する必要がある。